

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス

平成 28 (2016) 年 6 月 9 日

第 16 号

発行 株式会社ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

中央教育審議会 教育課程部会
考える道徳への転換に向けた
ワーキンググループ

「考え、議論する道徳」の在り方 について議論

中教審・教育課程部会に設置された「考える道徳への転換に向けたワーキンググループ」の初会合が、5月27日、文部科学省において開催された。主査は、一瀬正樹・東京大学教授、主査代理は、永田繁雄・東京学芸大学教授。

道徳については、今次学習指導要領の全面改訂に先立ち、一部改訂のかたちで教科化が図られており、教科書検定を経て、小学校では平成30年度、中学校では平成31年度から「特別の教科 道徳」が実施される（次期学習指導要領の全面実施は、小学校平成32年度、中学校平成33年度予定）。

中教審・教育課程企画特別部会「論点整理」（平成27年8月）では、道徳の特別教科化について、次期指導要領が目指す「資質・能力の育成」や「アクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善」を「先取り」するものと位置付けたうえで、次のように「考え、議論する」道徳科への質的転換をうたっている。

「考え、議論する」道徳科への質的転換については、子供たちに道徳的な実践への安易な決意表明を迫るような指導を避ける余り道徳の時間を内面的資質の育成に完結させ、その結果、実際の教室における指導が読み物教材の登場人物の心情理解のみに偏り、「あなたならどのように考え、行動・実践するか」を子供たちに真正面から問うことを避けてきた嫌いがあることを背景としている。

このような言わば「読み物道徳」から脱却し、問題解決型の学習や体験的な学習などを通じて、自分ならどのように行動・実践するかを考えさせ、自分とは異なる意見と向かい合い議論する中で、道徳的価値について多面的・多角的に学び、実践へと結び付け、更に習慣化していく指導へと転換することこそ道徳の特別教科化の大きな目的である。

本ワーキンググループは、この「先取り」改訂された道徳科を、その後積み重ねられてきた次期指導要領をめぐる諸議論と照らし合わせながら、教育課程全体を通して道徳教育の成果を上げるための手立てを探ることを目的とする。

委員からは「議論は二項対立とは限らない。様々な道徳的価値の中から、依って立つものを自ら選んで議論するなど多様な形があり得る」「『何を』考え、議論するのか、明確にする必要がある」など、「考え、議論する」ことの具体について意見が多く出された。

このほか、「評価手法で現場は迷っているが、手法ありきでなく“子どもを育てるための評価とは”という考え方を再提起したい」「家庭の多様化が進む中で、道徳授業によってつらい思いをする子が出ないように配慮を」「道徳科でこそ、発達障害をもつ子に対して、“今いる段階”からの進歩という着眼での細やかな目標設定が必要」などの意見が交わされた。

昨秋設置された22のワーキンググループのうち、唯一未開催だった本ワーキンググループがいよいよ動き出したことにより、今夏を目前に「審議のまとめ」を行うと馳文科相が表明したとおり（5月10日大臣メッセージ「教育の強靱化に向けて」／きょういくプレス第14号既報）、文科省における議論とりまとめ作業は一気に加速していく見込みだ。

本ワーキンググループは計4回開催予定。

小学プログラミング教育・提言とりまとめ

標記有識者会議の第3回会合が、6月3日文科科学省で開催、事務局が提示した提言案を基に意見交換が行われた。この日の検討内容を加味したうえで提言が中教審に上げられ、次期指導要領に関する教育課程部会「審議のまとめ」に反映される。提言案のポイントは次のとおり。

●小学校におけるプログラミング教育は、コンピュータに意図した処理を行うよう指示することができるということを経験させながら、発達の段階に即して資質・能力を育成するもの（プログラム知識や技術の習得ではない） ●小学校では以下を目指す。①身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付くこと、②各教科等で育まれる思考力を基盤としながら基礎的な「プログラミング的思考」を身に付けること、③コンピュータの働きを自分の生活に生かそうとする態度を身に付けること。 ●各小学校は、子供の姿や学校教育目標、環境整備や指導体制の実情等に応じて、プログラミング教育を行う単元・学年・教科等を決め、計画・実施する。



- 6月** ◆9日 ロックの日 ◆10日時の記念日 ◆11日 学校図書館の日 ◆12日 日記の日／宮城県民防災の日 ◆13日 小さな親切運動スタートの日／はやぶさの日 ◆14日 五輪旗制定記念日 ◆15日 千葉県民の日／栃木県民の日 ◆16日 和菓子の日 ◆17日ウォーターゲート事件発覚（1972） ◆18日 考古学出発の日 ◆19日 京都府開庁記念日／朗読の日 ◆20日 世界難民の日 ◆21日 夏至（2016） ◆22日 ボウリングの日 ◆23日 慰霊の日（沖縄県） ◆24日 UFO 記念日 ◆25日 住宅デー ◆26日 国際麻薬乱用・不正取引防止デー ◆27日 メディア・リテラシーの日／演説の日 ◆28日 貿易記念日 ◆29日 ビートルズ記念日（1966 初来日） ◆30日 トランジスタの日

■6/9～6/30 生まれの著名人（敬称略）

- 6月** 柳田邦男〔ノンフィクション作家〕（9日）、薬師丸ひろ子（9日）、いとうあさこ（10日）、松たか子（10日）、沢口靖子（11日）、新垣結衣（11日）、茨木のり子〔詩人〕（12日）、松井秀喜（12日）、梅棹忠夫（13日）、大江光〔作曲家〕（13日）、椎名誠（14日）、比嘉愛未（14日）、伊東四朗（15日）、大林素子（15日）、ねじめ正一（16日）、池井戸潤（16日）、麻生久美子（17日）、二宮和也（17日）、ドナルド・キーン（18日）、後藤輝基〔フットボールアワー〕（18日）、太宰治（19日）、広瀬すず（19日）、石坂浩二（20日）、鬼龍院翔（20日）、長山藍子（21日）、青山剛昌〔漫画家〕（21日）、山本周五郎（22日）、メルル・ストリープ（22日）、岸田劉生（23日）、筑紫哲也（23日）、六角精児（24日）、中村俊輔（24日）、アントニ・ガウディ（25日）、沢田研二（25日）、杉本苑子（26日）、具志堅用高（26日）、横尾忠則（27日）、優香（27日）、遠藤憲一（28日）、ジャン＝ジャック・ルソー（28日）、サン＝テグジュペリ（29日）、野村克也（29日）、南伸坊（30日）、夏帆（30日）

●ご注文・お問い合わせ先

株式会社 ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Web サイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

月刊シリーズ 『新教育課程ライブラリ』

月刊シリーズ
（全12巻）

Vol.6
6月16日刊

Vol.6 「チーム学校」による これからの学校経営

A4判・巻定価 本体 1,350円＋税
セット定価 本体 16,200円＋税

セット特価 本体 14,400円＋税（平成28年6月30日ご注文分まで特価適用）

■特集——「チーム学校」によるこれからの学校経営

- 解説 ○「チーム学校」が求めるこれからの学校経営（藤原文雄）／○専門性に基づくチーム体制の構築——「チーム学校」における学校・教師の役割（藤田武志）／○学校のマネジメント体制の強化（牛渡淳）／○教職員一人ひとりが力を発揮できる環境の整備（北神正行）
- 事例 ○スクールソーシャルワーカーの仕事と校内体制（横井葉子）／○学校経営に参画する事務職員（愛知県豊橋市教育委員会）／○民間委託による部活動の活性化（大阪市教育委員会）／○サポートスタッフによる教育活動の充実（長野県信濃町教育委員会）／○明確な課題設定や具体策で組織が機能する学校を目指す（東京都調布市立第五中学校）／○主幹教諭の在り方など学校の組織運営体制を充実するための方策（徳島県教育委員会）
- 提言 ○「チーム学校」による新たなマネジメント・モデルの構築（久我直人）



■巻頭インタビュー

島田妙子〔兵庫県児童虐待等対応専門アドバイザー〕

■教育長インタビュー

篠田暁美〔静岡県御前崎市教育長〕

■連載

- 新課程を生かすカリキュラム・マネジメント（天笠 茂）
- 「育ち」と「学び」をつなげる授業（奈須正裕）
- 実践！アクティブ・ラーニング研修（村川雅弘）
- ミドルリーダーが創るこれからの学校（大脇康弘）
- 学校改革の新定石（西留安雄）
- 教育課程改訂の動向（文科省教育課程課）
- 新学習指導要領に向けた指導の充実
～体育科、保健体育科～（教科調査官 渡辺教司）
- 教育 NEWS（渡辺教司）

●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申し込みを承り中です。右のQRコードから簡単にお手続きいただけます。この機にぜひお申し込みください！



◎取扱者